



夢の実現に向けて確かな 学力の定着を図る指導

～算数科の授業改善を通して～

大館市立早口小学校 教諭 伊藤 康子

1 はじめに

本校では、昨年度より「ふるさと・キャリア教育の推進」を学校経営の柱に教育活動を行っていますが、その中の「夢の実現に向けて学力の定着を図る」ための実践として、算数科の研究を位置づけています。この算数科の実践を通して、確かな学力を定着させ、お互いにかかわり合って学ぶ力を付けさせることで、本校の子どもたちに思考力や表現力・判断力を育てることができるのではと考え、全校で取り組んできたことを紹介したいと思います。

2 研究主題と目指す子ども像

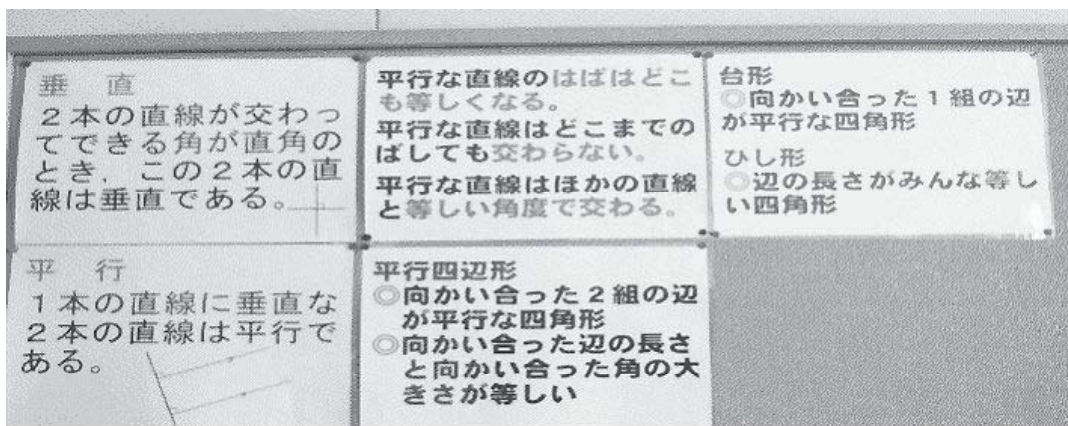
【研究主題】 確かな学力を身に付け、かかわり合って学ぶ子どもの育成
～算数科と道徳の時間の授業改善を目指して～

【目指す子ども像】 ①基礎・基本をしっかり身に付けていく子ども
②学習の進め方が分かり、見通しをもって学習できる子ども
③話し合いを通して学び合う子ども
④学んだことを振り返ることができる子ども

3 研究の重点と実践の内容

(1) 思考力を高める指導

- ①考えたくなり、考えを伝えたいような問題
- ②ゴールが明確、「スッキリ」する課題
- ③思考を助ける教材・教具
ア既習事項の活用
イ視覚的、具体的な教材・教具の工夫



(2) 表現力・判断力を高めるための指導

- ① 気付き・言語活動を大事にしたノート指導
- ② 気付きや考えを大切に工夫

ア 「ふきだし」の活用

- ・問題にかかわるできるだけたくさんの気付きの記入
- ・問題の解法にかかわる気付きの書き込み

イ 発表用紙の活用

- ・A3で作った点線マス目の用紙を常に準備
- ・予想される児童の反応に合わせた数直線や図の用意

③ かかわり合い・言語活動の充実

- ア 学び合うための言語力の育成～国語科中心に
- イ 算数科で使いたい言葉の掲示

(3) 意欲を高める指導

① よさを認め、ほめる機会の充実

- ア 生徒指導の機能を生かした授業
- イ 少人数，習熟度に応じた意欲付け
- ウ ノートへのコメント
- エ 花丸DAY(家庭学習ノートの頑張りを称揚)

② 自己評価能力の育成

- ア ふきだしを活用したプラス評価
- イ 定着の時間を確保して充実感をもたせる評価
- ウ 振り返りの表現方法の共通実践

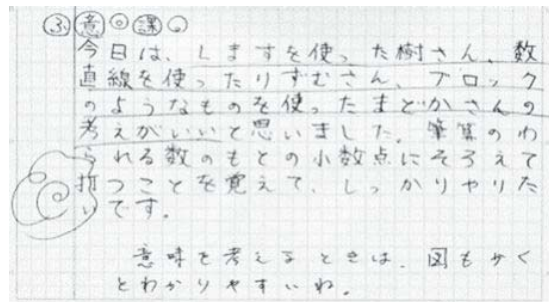
①意欲②課題に対しては必ず評価
(◎, ○, △)
その他については，文章表記



【考えの跡が分かるノート作り】



【花丸DAYに校長先生から花丸をいた】



【振り返りの表現方法】

4 成果と課題

- (1) 成果 ～・基礎・基本の定着
 - ・見通しをもち，児童主体で進める授業への転換
 - ・話形の活用で安心して発表する児童の姿
 - ・本時の課題に対して分かったことの振り返り
- (2) 課題 ～・すべての子どもが気付きをもてる工夫
 - ・学び合いを通して学んだことをさらに表現する力
 - ・結論に理由付けして確実に説明する力